

# 棚田に吹く風

2021  
春  
Spring  
季刊

- 2 特集  
波打ち際に迫る棚田
- 5 フォトエッセイ  
豪雪地の棚田とこれを支えるもの
- 6 棚田・里山からのたより  
物差しは千年  
～応援団の力も借りながら  
大分県別府市内成棚田
- 8 棚ガール  
トロノキファーム奮闘記
- 9 棚田博士は今日も行く  
突撃インタビュー  
棚田博士に聞く(後編)  
「思い出に残る出会い」
- 12 会員のひろば
- 14 棚田俳壇  
スタッフのつぶやき
- 15 Project Report



特集

# 波打ち際に迫る棚田

春になり田んぼに水が張られると、その青く揺れる水面がどこまでも広がる青い海と空に溶け込んでいく絶景がみられる棚田があります。棚田が位置しているのは東アジアの山岳地帯が中心で、近くに海が見える棚田は（韓国のごく一部を除き）ほぼ日本にしかありません。とりわけ「臨海型」といわれる「波打ち際に迫る棚田」は日本特有の景観といえるようです。

代表例は有名な輪島市の白米千枚田。風のある日には本当に田んぼに波しぶきがかかるのではないかと思われれます。

不思議なことに、同じ日本国内でも太平洋側には臨海型の棚田はありません。なぜそうなのか、詳細な理由はわかりませんが、地形や地質、稲の生育期と海から吹く風との関係など、いろいろなものが絡み合っただろうなようです。

今号は日本ならではの絶景、「波打ち際に迫る棚田」のご紹介です。

日本海側には、波打ち際に迫る棚田が各所で見られ、百選にも選ばれている。これは、稲の栽培期間である夏の日本海が穏やかなことによる。多くの方は「海は荒海」と唱歌で歌われていることもあり、北西の強い季節風と暗い鉛色の空が日本海だと思っている。しかし、夏の日本海ほど穏やかな海はない。その証拠に江戸時代の海上交通の主役をになった北前船の航行は夏の日本海を利用して行われたのである。

（中島峰広・棚田こぼれ話『日本海側には何故波打ち際まで棚田があるのか』より）



白米千枚田 石川県輪島市  
日本海に臨む能登半島の名勝地

輪島市街から車で約15分、金沢市街からは海岸沿いの無料高速道路を北上して2時間弱。白米千枚田は日本屈指の景勝棚田であり、世界農業遺産「能登の里山里海」の象徴的存在です。規模としては約1000枚4haの土坡の棚田です。小さくさまざまな田んぼが美しい曲線を描きながら山の裾野から国道を挟んで波打ち際まで続いています。棚田に立つと視界いっぱいには広がる青く澄んだ日本海、その水平線に沈む夕陽と棚田の織り成す光景は実に素晴らしく、しかも一年を通してこの光景を堪能できる臨海型の棚田そのものです。田んぼを縫うように張り巡らされた農道は潮風を感じながらの格好の遊歩道ともなっています。





## 浜野浦の棚田

佐賀県玄海町

死ぬまでに行きたい！  
世界の絶景

浜野浦川が玄海灘に注ぎ込む河口付近に築かれた棚田です。兩岸の急峻な斜面に等高線状に幾重にも築かれた石積みの棚田は国内随一といっても過言ではない曲線美を誇っています。更に玄海灘に沈みゆく夕陽とのコントラストは見事で「臨海の棚田」に相応しい光景を見せてくれます。

棚田最上部の国道に面し駐車場・売店・展望台が整備されており分かりやすく交通至便な棚田です。展望台近くには洒落たモニュメント「恋人の聖地」があり若い棚田ファンの人気スポットにもなっています。棚田越しに夕陽が沈む光景が見られる期間は4月下旬から5月上旬の間でも短い期間。河口兩岸の山が迫っており入り江が狭いためです。更にカメラマンが残念がるのは棚田の真上を送電線が横切っていることです。この送電線が建設されたのは棚田サミット開始の20年も前のこと。今でこそ『死ぬまでに行きたい！世界の絶景』に載るほどですが、当時は棚田に対する配慮が低かったのかも知れません。更に危惧されるのが2割ともいわれる耕作放棄で、行政も活性化に取り組んでおり支援の輪が求められています。

## 日引棚田

福井県高浜町

若狭湾に臨む天然の漁港

福井県の最も西の端に位置する百選の棚田。棚田は若狭富士と呼ばれる青葉山の北側にあり、若狭湾の一部、内浦湾に面しています。県道21号線から棚田の全景を眺めることができ、集落の先には海が広がっています。漁港は波静かな天然の良港で漁業と農業が盛んな町。旅館もあり、四季を通じ美しい海の幸を味わうことが出来ます。ここから車で10分位の場所には今寺の棚田があります。





## 袖志の棚田

京都府京丹後市

### 丹後半島の先端から日本海に臨む棚田

日本海に突き出た丹後半島の先端部分に位置するのが袖志の棚田です。ここは石積みと土坡の混在する棚田で傾斜は10分の1と緩やかな田んぼが海岸まで伸びており、水を張った田んぼの水面と海面が同じ高さの目線で見られる珍しい風景です。また強い海風に耐えるよう頑丈な丸太を組み合わせた稲木風景も見ることが出来ます。4段、5段と積み重ねられた天日干しの風景が守り継がれているのです。



## 大浦の棚田

佐賀県唐津市

### 伊万里湾の島々に臨む絶景地

伊万里湾と「いろは島」を望む四季折々の光景は箱庭的美しさをかもし出しています。台地の端から漁港の背後まで連なる棚田は林で区切られた3つのエリアから成る約1000枚の規模です。鎌倉時代から先人たちが脈々と築き上げてきた棚田で百選の棚田にも選定されています。棚田が漁港集落への土砂崩落防止、水源確保の重要な役割を果たしていることが、この写真からも見てとれます。棚田上部の展望台からはほぼ全景を眺めることができます。



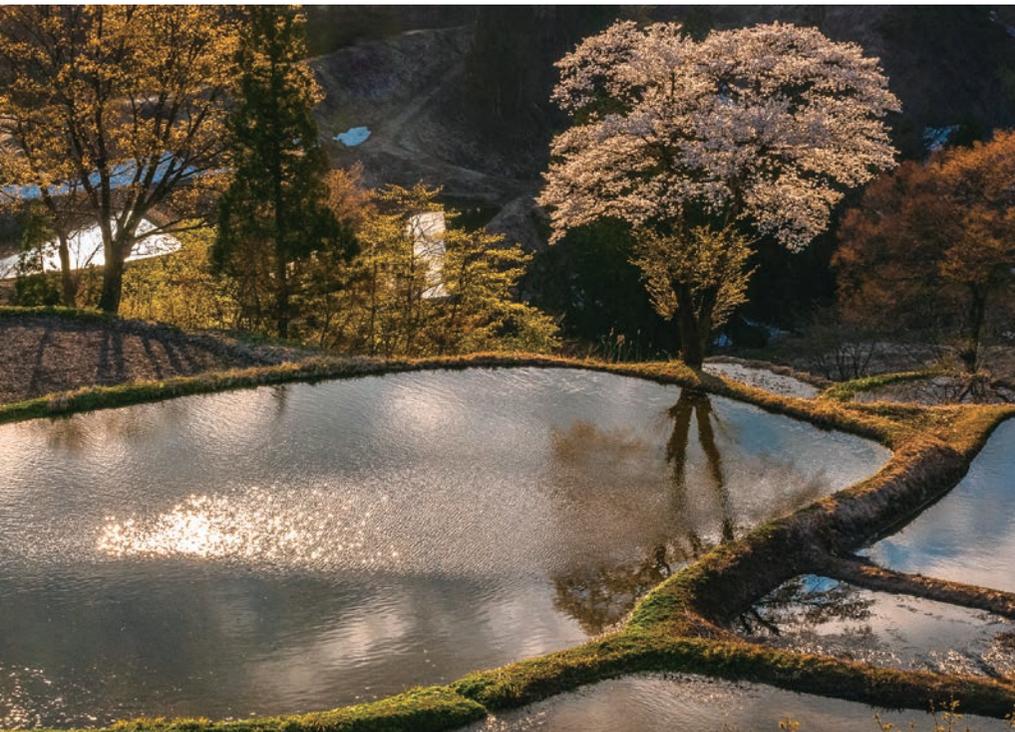
#### そのほかの海に迫る棚田（海岸段丘状の棚田を含む）

- |                                  |        |                                  |
|----------------------------------|--------|----------------------------------|
| ◆ <small>にい</small> 新井棚田         | 京都府伊根町 | 眼下に若狭湾を望む土坡の棚田、国内では珍しい朝陽の棚田が見られる |
| ◆ <small>からと</small> 唐櫃棚田        | 香川県土庄町 | 瀬戸内国際芸術祭を機に知られるようになった豊島の棚田       |
| ◆ <small>ひがしうしほばた</small> 東後畑の棚田 | 山口県長門市 | 長門市沖の日本海で盛んなイカ釣り漁船の漁火と棚田の夜景が映える  |
| ◆ <small>と</small> 土谷棚田          | 長崎県松浦市 | 伊万里湾に浮かぶ福島の棚田、「棚田の火祭り」発祥地として知られる |
| ◆ <small>はるひ</small> 春日の棚田       | 長崎県平戸市 | 隠れキリシタンの里で、春日川の先に対馬海峡方面の西海がひろがる  |
| ◆ <small>おおねざか</small> 大根坂棚田     | 長崎県平戸市 | 的山大島の棚田、岩の塔付近からの海の眺めは絶景          |

# 豪雪地の棚田と これを支えるもの



写真・文  
宮澤 幸雄



四季折々の風情を魅せてくれる豪雪地の棚田景観を撮り続けて20数年になります。近年、若者の都会進出により豪雪地の一層の過疎化が進み、後継者不足による耕作放棄地も多く見かけるようになりました。ゴールデンウィークの頃遅い開花の桜が夕照の棚田に映えることで有名な「儀明の棚田」も例外ではなく、去年後継者がいなくなり耕作放棄地となるとなりました。幸いにも4年前東京からこの地に移り住み農家民宿「トロノキハウス」を開業し「棚田のある暮らし」を標榜する元HANKO(ホテルアセットマネージャー)阿久澤剛樹氏が耕作を引き継ぎました。地元の有志の後押しもあって農業法人「トロノキファーム」を設立し、この風情に満ちた棚田を守ることになりました。その奮闘記は本冊子にもこれまで掲載されているほか、阿久澤氏のSNSでも詳しく紹介されています。

この地域の抱える問題は山積していますが、新しい試みとして今後の展開に期待するものです。こうした意欲に満ちた人達の取り組みによって豪雪地の棚田は守られているのです。

さて、今回のメインの写真はこの「トロノキファーム」が引き継いだ「儀明の棚田」の畦に咲く有名な桜です。道路から西側を俯瞰する絶好のロケーションにある棚田ということもあって、毎年多くのカメラマンが訪れ賑わいます。この日は夕陽に映える桜を撮っていたところ、偶然一陣の風が棚田の水面を吹き渡り、さざ波が夕陽に輝く瞬間を捉えたものです。



宮澤 幸雄  
みやざわ ゆきお

1955年新潟県十日町市に生まれる。新潟県警察官として在職中の1994年、風景写真家宮下正巳氏(新潟県妙高市在住)に出会い心酔し、指導を受けながら風景写真撮影を開始する。専ら旧東頸城郡(現十日町市)のいわゆる豪雪地帯のブナ林を対象に撮影をしていたが、当地の棚田に展開する四季の風景に魅了され傾倒。退職と撮影20年を機に写真集「ブナと棚田の物語」(風景写真出版刊)を上梓。これまで同名の写真展を住居地の上越市内にて3回開催。

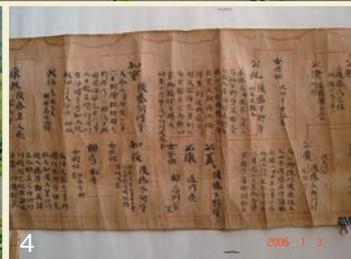


星峠の棚田に春の霧が漂うなか、フキノトウも芽吹いた畦で、可憐に咲き誇る枝垂れ桜2本

棚田・里山  
からの  
たより



## 物差しは千年〜応援団の力を借りながら〜



1: 田植えの頃 / 2: 田植えの風景 / 3: 田植えの後 / 4: 「太郎丸」の由来が見える家系図

### 歴史ある内成棚田

内成棚田は大分県別府市の中心市街地から南へ約12km。標高1300mから3000mの南斜面に約1300枚の田んぼがあり、最上部の太郎丸から中の迫勢場、梶原、岩水、鎰掛、御園、勢家、下畑の9つの集落に84戸（165人）が住んでいます。

内成棚田のシンボルの一つに樹齢1300年以上といわれる勢場の大銀杏の木があり、地域の歴史はその頃から始まっています。ちなみに我が家（後藤家）の系図には承和3年（1076年）に初代が現在地に居住を始めたという記述があり、この祖先の幼名「太郎丸」が小字の名前になったといわれています。

耕地のほとんどが水田で、平安末期から江戸時代にかけて形成された石組みの棚田で古くから水稲を中心とした農業を営んでいます。田の一枚の平均面積は3a、枚数が

### 大分県別府市内成棚田

約1300枚と生産条件に恵まれず、一戸当たりの経営規模も零細なため、若年層は都市部へ流出しており、耕作放棄による農地の荒廃及び担い手の不足が懸念されています。

### 棚田の保全活動の始まり

1999年7月に「日本の棚田百選」に選ばれたことを契機に、地域の有志により棚田を守るための組織として2001年12月に「内成の棚田とむらづくりを考える会」が設立され、棚田を保全していく気運が徐々に醸成されていきました。そして2005年度の中山間地域等直接支払交付金事業の集落協定により「内成活性化協議会」が発足し、農業者や地域住民が一体となった棚田保全活動の取り組みが本格的に始まりました。

以前から春先の野焼き、水路や農道の補修などは共同で行われていましたが、これに加えて作業機械の共同購入や共同利用、畦の草刈

りなどが協力して行われるようになりまし。獣害対策として、集落全体を囲むように延長約15kmのイノシシ侵入防護柵も設置しました。また、別府市にある立命館アジア太平洋大学と連携し、古民家を改修した長期滞在型宿泊施設「ホリデーハウス御園」の運営も始まりまし。内成産の棚田米が航空会社の機内食に採用されたり、福岡市と別府市を結ぶ高速バスが「内成棚田ラッピングバス」になるなどの話題もあります。これらの活動が評価され、2015年には「豊かなむらづくり全国表彰事業」で農林水産大臣賞を受賞しました。

一昨年に成立した棚田地域振興法によって内成棚田も指定棚田地域になり、これを活かした取り組みについても検討中です。ただ、課題も多く、農産加工品やホリデーハウスなどの活動は残念ながら中断しています。

## 新しい動きから次の千年へ

20年近く続けてきた棚田の保全活動も高齢化には抗えず、耕作放棄地が増加して2割近くになってしまっ

ており、活動に行き詰まりも感じています。

この状態を憂慮した地域外の応援団の方たちが自主的に「みんなの内成棚田」というボランティアグループを作り、耕作放棄地の活用だけでなく、里山の整備や空き家の有効活用などに知恵を出し、汗を流してくれています。メンバーは約半年で300人近くに増え、どんどん広がりを見せ、毎回新しいメンバーが増えていますので、顔と名前を覚えるだけでも大変です。昨年の田植えではコロナ過で帰国が遅れてしまったフランス人の家族を含むボランティアの方にお手伝いいただきました。



上：脱穀後の稲藁の束／左：雪景色

### 棚田へのアクセス

【公共交通】 別府駅前より亀の井バスの内成線「かいかけ行」に乗りし、バス停太郎丸下車すると一帯が棚田

【自動車】 大分自動車道別府ICより、県道52号、国道10号経由で県道51号に入る。高速道路の下をくぐりすぐの案内標識「内成」を右折し林道を上る。ICから約15km

### お問い合わせ

棚田・里山景観研究所  
Tel. 080-5202-0863



最近、内成棚田の産品などを販売する「内成棚田千年紡ぎ家」という小さなショップを開店したり、子どもたちの里山体験に「しいたけの駒打ち」体験会などを開催するなど、年間を通して人が訪れてくれるような催しを計画・実行してくれています。棚田の新しい活用方法として、周辺の里山の竹材を利用した竹炭を使った野菜の栽培や、竹製のブランコやジャングルジムを作り、次はすべり台にしようか何にしようかと相談を進めているようです。

千年近く営々と棚田・里山を維持利用し続けてきた祖先たちの遺産を引きついでいくためには、外部の皆



左：竹で作ったブランコ／右：竹のジャングルジム

さんの視点が大事なのかなと感じています。

（内成活性化協議会前事務局長／棚田・里山景観研究所主宰 後藤幸彦）

# 棚 ガール Tana Girl

Vol.12

そんな女性を紹介するコーナーです!!

棚田の虜になった女子、通称「棚ガール」

大分県別府市内成棚田

原千砂子



私は活動2年目の棚田初心者です。定年後、温泉に入ろうと別府に移住し、すぐに出会った内成棚田のお米を食べ続けています。お米と一緒に筍、さくらんぼなど季節の物を頂き、どんな所かと何うようになりました。どこの棚田も同じ悩みを抱えていると思いますが、学齢期の子供が一人もおらず、次世代は都市に出ています。農業収入は赤字で年金を使って農業をしている状態です。

ある日、私は聞きました。「赤字な



のになんで農業やってるの?」と。すると後藤幸彦さんはこう言いました。「一年一年で考えるから赤字なんよ。千年で考えたら採算は取れてるんよ」と。後藤家の祖先は内成に1076年に来たとの記述が残っており、少なくとも2076年には千年になります。私ははっとしました。持続可能と言うなら、棚田はそれをすでに証明している理想郷ではないか?

季節ごとに美しい景観を見せる棚田をせめて多くの人に知ってもらいたいと2019年、稲刈り体験イベントを始めました。今では「みんなの内成棚田」というFBグループはメンバーが343人になりました。写真は一緒に活動している農家のえみちゃんです。みなさんとつながって頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

みんなの内成棚田 Facebook



# トロノキファーム 奮闘記

柳芳健

棚田の耕作放棄が進む理由は色々ありますが、地元の人は「高齢化による体力低下」「用水の確保が難しい」「現代農業は機械化によりお金がかかる」。このようなことから棚田が無くなっていくのは時間の問題で仕方の無いことと諦めていました。そんな中、移住者である阿久澤さんが「儀明の棚田を何とか維持していきたい」という話をしたので地元の人々が協力しない訳にはいかないと思い仲間に入れていただきました。

一年目の代がき、田植え、草刈り、田の草取り、稲刈りと進むにつれて泥だらけの田んぼでの過酷な稲刈りの時には、トロノキファームに入つて失敗したかなあなんて思うこともありましたが(笑)、そんな農作業の時ファームのメンバーや他のお手伝いに来てくれた参加者の皆さんが泥だらけになりながら「農作業は大変だけど楽しいですね」と、はあく楽しい? 何言ってるのだろう(私の心の声) んん? 待てよ、これって私が十五年前稲作を始めた時にベテラン農家さんに「いやあ、趣味としての米作りは楽しく面白くてもしょうがないですよ」と言われて「ふざけるな、農業はそんなもんじゃない」と怒られたのを思い出しました。農作業に限らず仕事もそうですが、時間や他の仕事に追われて余裕がなくなる辛、大変と思うかもしれませんが、初心に帰る今年農作業は楽しんでやらないといけないあと思えました。



Toronoki Farm Story



聞き手：水野晴美（会員）

# 棚田博士 は 今日も行く！

## 中島峰広の 全国棚田行脚

突撃インタビュー  
棚田博士に聞く  
「想い出に残る出会い」（後編）

本誌連載の「棚田博士は今日も行く」は、コロナ禍による取材自粛で中断していますが、この期間を利用して、連載執筆者の中島峰広氏に突撃インタビューを試みました。そのインタビューの後半部分を紹介します。聞き手は会員の水野晴美さんです。

「棚田が世間で広く知られるようになったきっかけを聞かせてください」

きっかけは、やはり第1回の棚田サミットだね。詳しくは棚田学会誌にも書いているんですが『棚田に価値を与えた人たち』に登場する人物で、仕掛け人は当時の高知県梼原町長・中越準一氏、火付け役は石塚克彦氏だ。

石塚氏は日本人の暮らしをテーマに全国各地を巡演する「ふるさと

きゃらばん」というミュージカル劇団を主宰する芸術家。梼原町でも劇団の公演をしたことがあり、中越町長とは知り合いだったようだ。また、石塚氏は巡演の旅で当時の福岡県星野村の石積み棚田風景に出会い、いたく感動したようです。

ある時、写真家の英伸三氏が日本の棚田風景を撮影しようと石塚氏に協力依頼したところ、感動に残る星野村を紹介されたそうです。英氏は星野村の住人との出会いのなかで「このままでは棚田が消滅してしまう」と感じ、その存続について石塚氏に相談しました。

石塚氏は知り合いで当時の農林大臣、その後に首相になった羽田孜氏に掛け合うも補助金の賛同は得られなかった。当時、ウルグアイラウンドの貿易交渉中のため、お米



### なかしま みねひろ 中島 峰広（棚田博士）

早稲田大学名誉教授。学術博士。NPO 法人棚田ネットワーク代表。全国棚田（千枚田）連絡協議会理事、棚田サミット開催地選定委員会委員長。1933年宮崎県生まれ。早稲田大学教育学部地歴科卒。2004年まで早稲田大学教育学部教授。著書に『日本の棚田—保全への取り組み』『百選の棚田を歩く』『続・百選の棚田を歩く』『棚田 その守り人』（以上、古今書院）。現在、百選外の棚田についての執筆準備のため全国行脚中。

に対して特別な補助金など出せないとの理由であったため一旦は支援要請を諦めたという。

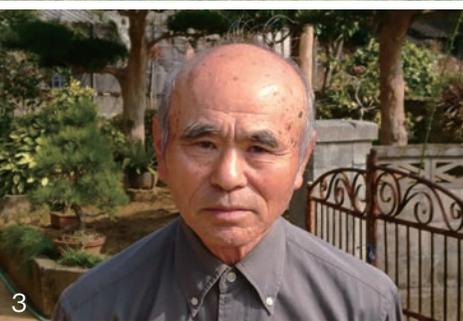
その後、中越町長が石塚氏に棚田で町おこしをしたいと相談を持ち掛けたんだよ。梼原町と石塚氏が発起人となり高知県の奥深い過疎地域での棚田サミットを企画したんだ。中越町長としてはそれほど大々的なものと考えていなかったようだが、石塚氏は全国を旅し各地に知り合いもいたため、全国規模の開催を呼び掛けた。この企画には私も協力し、「棚田とは勾配20分の1以上の田んぼ」という定義づけを行い、全国棚田分布図を作った。それが朝

日新聞夕刊の一面に取り上げられ、その景観の素晴らしさにマスコミが注目することとなり、同時に第1回全国棚田サミット（1995年）の成功と相まって今日のように棚田の存在が世間に知られることになったんだよ。

「全国の棚田を巡って想い出深い方を何人があげてください」

中屋栄一郎さん  
岐阜県高山市・滝町棚田

この方は、もと野菜農家だったんだが、息子さんに譲って当時放棄され荒れていた棚田の復田を始めたんだ。自分でバラックみたいな交流施設を作ったりしてね。だから自宅にあった南部鉄瓶を「これでも



1: 第1回棚田サミットと同時に、運営母体として全国棚田連絡協議会が設立された（写真提供：梶原町）／2: 土谷棚田。火祭り発祥の臨海棚田／3: 土谷棚田保全の中心メンバー永田恵さん／4: 稲淵棚田。早くからオーナー制度に取り組んだ

ぶらさげといたら」と持って行ってあげたことを覚えているよ。奥さんは高山の朝市で「さるぼぼ」を売っていて、この朝市まで奥さんを送り農作業をしてからまた迎えに行く、そんな暮らしを楽しんでいたんだ。

もうひとつ記憶に残っているのが奥さんへのアプローチで、通勤路で待ち伏せし、大きな紙に恥ずかし気もなく「LOVE YOU」と書いて告白したというんだ。そういうことを平気でやる男で、とにかく多くの棚田人の中ではちよつと愉快な人だったよ。ただ、この人はね、最後の復田を終えて田植えを見届けて亡くなってしまったんだ。白血病でね。愛妻を残して未練が残っただろうネ。

永田恵さん  
長崎県松浦市・土谷棚田

ここは全国で初めて棚田の火祭りを実施したところでね。永田さんは保存会の中心メンバーで火祭り実施の第一の功労者。九州電力に勤めておられて、定年後も土谷の棚田保存に尽力されているんだよ。我が家に届く新米第一号は永田さんからでね、お盆前には届いている。お米にはいつも佐賀名菓の羊羹が添えられているんだ。そのころになると米も美味しくなくなっちゃうから、届くのを待っているんだよ。夏も後半になると土谷の辺りは台風の通り道になるから、なるべく被害を軽減するために収穫を早めているんだな。信義の人で未だ友情は続

いているよ。

高内良叡さん

奈良県明日香村・稲淵棚田

彼は役場の職員で、実家は橋守だった。聖徳太子生誕の地といわれ由緒あるお寺だよ。その跡取り息子が若いころはヒッピーのように世界各地の放浪の旅をしていたから新しい考えを持っていったんだろっな。そのためか棚田に対する取り組みも早く、丸山千枚田と同じころからオーナー制度を始めていたんだよ。

そこで私は高内君に大山千枚田まで来てもらいシンポジウムや講演会を開いて、オーナー制度に関するノウハウなどを説明してもらったんだ。今では百組を超えるオーナーが集う大山千枚田を生み出した恩人の一人。ただ、彼も惜しいことに脳腫瘍を患い亡くなってしまった。オーナーさんと結婚し棚田に情熱を注いだ人だったな。

川崎憲さん

千葉県鴨川市・大山千枚田

棚田ネットワークが川崎さんと

関わるようになったのは、大山千枚田保存会（当時はまだ任意団体）の会計だった石田三示<sup>さん</sup>氏の紹介で、耕作放棄されていた川崎さんの棚田の復田に取り組んだことからなんだ。最初、川崎さんは「玄米を食べない奴は家の敷居を跨がせない」なんて言っていたんだよ。「都会の住民に棚田の農作業の何がわかる？」といった考えだったんだろうが、棚田ネットワークのメンバーが2年をかけて復田してしまつたから、都市住民の棚田を思う気持ちを見直してくれてね。それを契機に大山千枚田はオーナー制度を始めたんだよ。

### 石田三示さんと大塚実さん 千葉県鴨川市・大山千枚田

大山千枚田保存会理事長の石田さんは衆議院議員にもなつたんだ。小沢一郎が率いる民主党が大勝した時だ。賢いというか政治家に固執しないで人生経験として一期で降りたがね。

そんな石田さんのところに鴨川グランドホテルの支配人から「大事なお客様が大山千枚田を見たいとおつ

しゃるので案内してほしい」って電話がかかってきたんだよ。それが大塚商会の大塚実会長だった。秘書を連れて、脇に棚田の本を抱えていたそう。それが私の『百選の棚田を歩く』だったんだ。なぜその本を持っていたかという、大塚会長は亡くなるまで次男と暮らしていたんだが、その次男が私の教え子で、私の定年祝賀会に来てくれた折に渡したのが、その本だったんだよ。

石田さんが棚田を案内していると大塚会長が「大変な作業だね。何か困つたことはある？」と聞くので「いや、コピ―機が壊れちゃつて・・・」というと会長が秘書に「君、ちよつと電話してコピ―機をここに持つて来てくれ！」と言つたそう



石田三示さん<左>と大塚実さん  
(写真提供：大山千枚田保存会)

だ。その後も田んぼを見て「あそこの土手が壊れているけどどうやって直すの？」と聞かれるので「人力で直すしかないですね。でもコンボがあつたら楽でしょうね」と答えると「そうか、ではコンボを買ってあげよう」とおつしやつてコンボと倉庫、他にも老朽化していた宿泊施設のリフォーム代まで出してくれてね。それからずっと面倒を見てくれたんだ。その夜の石田さんからの電話は「福の神が現れた〜！」と興奮していたよ。

大塚会長といえは新潟の池谷棚田にも関わつてくださったんだ。中越地震で集会場が壊れ、その再建資金が3百万円ほど足りないとい集落のリーダーから私のところに相談があつたので、大塚会長に掛け合つてみたんだよ。そうしたら即座に「わかつた！では、5百万出してあげよう」と言つてくれたんだよ。そして再建されたのが集会所「実るいけだん」なんだ。一昨年亡くなられたが、棚田の恩人だったな。

棚田の研究で三重県熊野市・丸山千枚田を訪れてから約50年、全国各地で多くの棚田人との出会いがあり、機会があればまた紹介したいね。



集会所「実るいけだん」



田植え風景のひとつ（写真提供：大山千枚田保存会）



「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください！ご要望、感想やご質問でもOK！  
 (会員の声800字まで、会員レポート400字まで、写真も添えて)  
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-18-16  
 トーシンハイム七〇四号「棚田に吹く風 会員のひろば」宛  
 メールでも受け付けています ⇨ [hiroba@tanada.or.jp](mailto:hiroba@tanada.or.jp)

## 住まいづくりで移住者支援

山梨県甲州市 豊岡 翠

東京を離れ山梨県甲州市に移り住んでまもなく7年が経とうとしています。夫の祖父が残してくれた築250年の古民家をリノベーションし、夫と猫と3人暮らし。実家の家業が不動産屋だったこともあり、現在は地域密着の不動産屋として活動をしています。

私たちの不動産屋には実に様々なヒトが住まいを探しにやってきます。俳優、ミュージシャン、野草研究者、デザイナー、農家、ワインリー関係、和紙作家、彫刻家、着付けの先生、アーティスト、編集者、世界的登山家、写真家、絵本作家等々…。彼らはみんなこの地独特の魅力に惹かれてやってきた人たちで、山梨独特の丘陵、そこに広がる葡萄や桃の畑、そうした畑の中で暮らす人々の営み、3000m級の壮大な山々、そして何より都市部まで1時間半というアクセスの良さを最大限に楽しんでいます。

東京で暮らしていたら絶対に出会えなかった人たちが「不動産」を通して繋がって、想像もしなかった出会いが、山梨の片田舎の家族経営の不動産屋で繰り広げられているわけです。

夫と二人で不動産屋を立ち上げた当初からこのような個性溢れるお客様が多かったわけではありません。地元の人からはこんな不便な



夫(左)と愛猫に囲まれて(再生古民家の庭先で)

田舎に住みたくないと言われて落ち込む事も多かったし、市の健康診断に行ってみたら周りにはみんな70代以上で30代は私だけなんていう事もありました。それが、このままではまずい！内側から変えなければという危機感に繋がったんだと思います。それからは不動産屋として同世代や移住者が住みたくなくなるような「住まい」を用意するべく馬小屋や蔵をリノベーションして移住へのステップアップ住居作り、耕作放棄地の貸農園化など、共感を得られる「住まいづくり」に取り組んできました。同世代や移住希望者の「あったらいいな」を形にすれば結果はそこについて来る。顔なじみがひとり、またひとりと増える喜びを噛みしめながら、これからもここ甲州市でステキな住まいを提供し続けていきたいと思っています。



## 会員さんの Best Shot!

### 会員のみなさんの ベストショット募集!!



みなさんが撮影した棚田や作業風景の写真など、ベストショットをコメント(70文字程度)を添えて編集部まで送ってください。毎月、紹介させていただきます！送り先は下記。

〒160-0023  
 東京都新宿区西新宿7-18-16  
 トーシンハイム704号  
 「棚田に吹く風 ベストショット」宛  
 メールでも受け付けています  
 ⇨ [hiroba@tanada.or.jp](mailto:hiroba@tanada.or.jp)



### 熊本県産山村扇棚田 福岡県福岡市 上野 裕治

棚田百選で、最も田の枚数が少ない棚田ではないかといわれています。棚田と草原の放牧地が隣接しているところが独特の景観を形作っています。用水はすぐ近くの山吹水源という非常に美しい湧水から引いてあります。

関東農政局棚田シンポジウム傍聴報告

茨城県取手市 杉山行男

関東農政局棚田シンポジウムが「棚田と都市を結ぶネットワークづくり」をテーマに、令和2年12月9日（水）農政局及び管内各都県の拠点会議室をオンラインで結び開催され、棚田ネットワークからは中島代表他3名が参加しました。

シンポジウムは、初めに棚田振興法の概要説明や全国の指定状況等の情報提供が農村振興局の担当者からありました。続いて各県の拠点会議室から、栃木県那珂川町、千葉県鴨川市、長野県上田市稲倉、松本市四賀、静岡県松崎町石部、菊川市千榎の6事例の発表が各活性化協議会の代表から行われました。

事例発表では、大山千枝田の石田氏のように馴染みの方の先進的な事例や、松本市四賀の棚田の株式会社からまくらやのように、農業生産法人が地域の農業経営の一環として棚田保全活動を行っている事例など多様な活動が紹介されました。

引き続き質疑が行われ、「Q：四賀の棚田の保全を会社としてやっているのはどのような考えか」「A：会社として地域で150ha程度の規模で経営しているが、棚田のような耕作放棄地を含めた地域全体の農地を再生することが使命と考え、棚田だけでは持ち出しの部分もあるが、全体で収益を上げることが目標として、現在は、全体では持ち出しが出ない状況になっている」、また中学生からは「Q：学校で棚田について勉強しているので参加したが、外来生物について困っていることは何か」「A：植物だとセイタカアワダチソウ、動物だとキョン、アメリカヤリガニが多いが、外来種よりモイノシシなどの獣害に悩まされている」等の活発な質疑がありました。

今回のシンポジウムはオンラインでの開催でしたが、多様な取り組みを知ることが出来、大変勉強になりました。早くコロナ禍が収束し、より多くの方が参加できるシンポジウムを開催でき、棚田振興法を活かし棚田の保全活動が活発になることを願っております。



編集部イチオシ! BOOK & MOVIE



「種子法廃止でどうなる?」  
種子と品種の歴史と未来  
「どう考える? 種苗法」  
タネと苗の未来のために



農文協編  
各 900円(+税)  
農文協ブックレット  
2017年12月(上)  
2020年12月(下)

この件、マスコミにはほとんど取り上げられないが「大変だ!」と練達の農業記者さんは早くから指摘していた。種(たね)と苗にかかわる2つの法の成立経緯から今後まで、「種子法廃止でどうなる?」「育成者の権利と農家の育種の権利」「規制改革」などの論点で農業現場や農業試験場、研究者、哲学者、作家、生活者ほか様々な視点で解説。日本の「農」と「食」という暮らしにかかわる重要な政策転換を知る2冊。

UTAUTA 歌う田  
あの縄文田んぼに還ろう



出演・音楽:真砂秀朗 / 監督・撮影:オオタヴィン  
制作:まほろばスタジオ / 2020年~シネマアミーゴで公開  
<https://vimeo.com/450700225>

山あいの田んぼを舞台にしたドキュメンタリー映画。ミュージシャン真砂秀朗の縄文田んぼは20年間耕さない、農薬、肥料を使わない。オオタヴィンの映像美と真砂秀朗のヒーリングミュージックがコラボした里山ドキュメンタリー。縄文田んぼが教えてくれる農の原点、年間20日間の農作業で一年分の米ができる。ここは、なつかしいミライ。あの田んぼに還ろう。

第38回

# 棚田俳壇

令和3年

素人しろうと五七五

誌上添削

誌上添削は誌面都合でお休みて下さい  
次回募集は5月末日です

雪布団田植え夢見る学校田  
三尺にこも雪国俺らが里  
三尺に思い出しつつ雪下ろし  
雪消えて行つて来たのか落穂田に

新潟市 田入絵人

人と会う機会も減りて春の声  
ウグイスや土軽き畑畝ふるう  
ひなびたる神社お参り梅の花  
空晴れて鳥歌いたる山笑う

豊島区 小川順子

置み目を陽射しに数えるコロナ日々  
車内にてくしゃみやみこらえて顔破裂  
股火鉢豆煮るオヤジの歳となり  
梅咲きておろし大根で朝餉食む  
豆撒きやコロナ騒ぎて寺の外  
蕎麦屋酒黙食迫られ昏たてず  
無精髯マスクで隠し春を待つ  
側溝に水飛沫たら春近し

調布市 高木宏明



クワッカス不意に咲き出て地震の庭  
薄氷の中に身を寄せ番鳥  
鶯の初鳴き届け痛む友へ  
赤い実を巡りて飛び交う春の鳥

春巻胆あの日あの時のあ場所  
一露 浜松市



枯れてなお霜庭飾る千日紅  
肩透かし雪囲いし枝何時外さん  
薄氷山田の水面に想い馳せ  
今年もか自肅で我慢の堤桜

所沢市 上久保郁夫



鴨帰る鳥インフルの脅威逃れ  
春風やマスクで花粉気にならず  
呀え返る菜花凍らす夜明け前  
ホオジロや一筆啓上影見え

取手市 杉山行男

棚田ネットスタッフの  
つ・ぶ・や・き

（輪番制）

今回のつぶやき人

事務局 ドブゴン・フライ

皆さんは、世界的スポーツ大会を見る際はどこに注目しますか？私  
はというと、もちろん競技そのものも大注目ですが、最も興味を持って  
いるのは開会式です。開催地の技術・芸術の粋を集め、お国柄を反映した盛  
大なショーは見ものです。

私のテンションが一番上がるのは入場行進です！開催地の言語のアル  
ファベット順で入場行進が行われるため、その言語に詳しくない限り  
は順番の予測が難しく、先頭は発祥の地ギリシャ選手団、最後は開催地  
の選手団になっている他は、とても意外性を感じられるからです。

私の場合は、開会式を録画して、ショーや演説は早送りにし、入場行進を  
重点的に見ます。そして順番をメモします。メモしたからといって後日ど  
うこうしようとは考えておらず、その行為自体が楽しいのです。2018  
年のピョンチャン五輪のメモは自室の机に放りっぱなしです（笑）。

（将来の開催地の選手団は当該開催地選手団の前に入場するよう、最近  
一部変更されたというニュースもあります。）

昨今、入場行進に関しては「選手ファースト」の観点で議論されている  
ようです。個人的にはそれもそうだと思っていますが、役員や旗手だけ  
にするとか、いろいろな方法を模索していつてほしいです。

入場行進の順番の他に興味をそそられるのが、国・地域名をアルファ  
ベット3文字で表したいいわゆる「国名コード」です。

例えば日本だと「JPN」で、子音だけで表されます  
が、USAやUAEのように単語の頭文字で表さ  
れるものとか、いろいろなパターンがあり、とても  
面白いです。

文字数が足りませんが、もちろん国旗も大好き  
ですよ！（写真は2014年世界卓球選手権の時  
のコソボの旗です。）



## 千葉県鴨川市

### 川代棚田でお米づくり

今年も体験プログラムを実施します



昨年から続く新型コロナの感染による緊急事態宣言が千葉県も対象となり、多くの行事等が中止されるなど、私たちの日常生活にも甚大な影響をもたらしました。

幸い鴨川市では、感染者数も少なく、昨年の川代棚田のオーナー行事も草刈り、稲刈りなど無事実施することが出来ました。今年も引き続きオーナー制度を行うこととなりました。棚田ネットワークの体験プログラムも感染防止対策を行い、田植え稲刈り体験を中心に実施することとします。これらの体験作業を通じて、棚田の持つ様々な機能や食べ物の大切さを感じていただくことは大切で、棚田ネットワークの大きな目標の一つです。

今年も、種まき（4月4日）から始まり、田植え（5月2日）、草刈り（6月6日、7月4日、8月29日）、稲刈り（9月5日）、収穫祭（10月3日）とスケジュールが予定されています。多くの方の参加をお待ちしています。

（杉山 行男・上久保 郁夫）

## 岐阜県恵那市

### 棚田ビオトープ プロジェクト

変わらぬ自然の営み



この原稿を書いている七十二候の「桃始笑<sup>もちはじめてさく</sup>」ころ、ちょうど我が家の杏の花が咲きました。桃も杏も同じバラ科の花の様子も似ていて、咲く時期もほぼ同じなので遠くから見ると見分けが付きません。さて、2020年度を振り返ると、コロナで様々な日程の変更を強いられました。しかし、坂折棚田での活動は、5月の田植え、8月のこどもビオトープ観察会、9月の稲刈り、そして、3月のかえるの卵を探そう！とできました。これも屋外の活動の強味でしょうか。2011年の東日本大震災の時も、坂折棚田のヤマアカガエルは例年と同じように卵を産み、そして、コロナ禍の今年も例年と同じように卵を産む。自然の営みを見ると、我々の生活（特に仕事）は何と小さいのか考えさせられます。

春の水溜りに卵を産むヤマアカガエルの卵塊を探す「第14回かえるの卵を探そう！」は3月20日（土祝）春分の日10時から開催しました。報告は次号で。今年の冬は寒いと思っていましたが、3月に入るとそこまで寒さはありません。コロナも気になりますが、地球温暖化も気になります。

（相田 明）

## 静岡県松崎町

### 石部棚田で昔ながらの米づくり

2021年 石部プロジェクト始動



昨年の耕作断念を乗り越えて、10年目の石部棚田プロジェクトを開始しました！今年からは「昔ながらのお米づくり体験」としての年間通した作業体験イベントは終了し、田植えと稲刈り体験を一般公募します。その他の準備作業はスタッフと有志のボランティアで行うことになりました。まずは2月8日に西伊豆の冬の風物詩である強烈な海からの「西風」に煽られながらの田起こし作業をスタッフで行いました。

3月20日には山桜が咲き誇るほかばか陽気の中、6名のボランティアで畔切り・畔叩き作業を行いました。今年の体験イベントは「田植え」が5月15日（土）、16日（日）、「稲刈り」が10月2日（土）、3日（日）を予定しています。その他のボランティア作業は順次日程を決めていきますので、興味のある方はぜひご連絡ください。

（高桑 智雄）

全国棚田(千枚田)検索サイト

# 棚田NAVI

続々と  
更新中  
です!



2020年春にオープンした全国の棚田情報がキーワード検索できる『棚田NAVI』が、掲載100地域に到達。今後も続々と更新していきますので、ご期待ください!

『棚田NAVI』は、地域はもちろん、オーナー制度、ライトアップ、棚田カードなどニーズにあったキーワードで絞り込み検索もできる業界初の棚田データベースサイトです。棚田の特色や基本情報ほか、GoogleMapとの連動でアクセスも早わかり。地域情報などは関連サイトへのリンクもありポータルサイトとしての機能も充実しています。

最新更新情報は、facebookページ、twitterにて告知いたしますので、ぜひフォローしてください!

<https://tanada-navi.com>



@tanadanavi



<https://www.facebook.com/tanadanaviwebsite>



## わたしたちと「棚田の応援団」やりませんか!

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい!」という会員によって自主的に運営されているNPOです。消えゆく美しい「棚田」をどのように保全していくことができるのでしょうか?一緒に考えませんか?ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう!

会員になろう!

年会費

私たちは、会報誌「棚田に吹く風(年4回)」やホームページで豊富な棚田情報を発信しています。会員になりこれらの活動に参加してみませんか?

- 個人会員
  - 維持会員 1口1万円(1口以上)
  - 一般会員 4,000円
  - 応援会員 3,000円
  - 学生会員 2,000円

### 法人会員を募集しています!

私たちは、棚田を守るため、農山村の人々と都市住民双方の協力のもとに様々なプログラムを企画・運営しています。これらの社会貢献活動に賛同し、ご支援いただける企業・団体・事業主様を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

年会費

- 法人会員(賛助会員) 1口3万円(1口以上)

お祈り致します。

近年は農水省の助成事業である棚田でのスマート農業加速化実証プロジェクトに専心していたところでの突然の訃報。本当に残念でなりません。心よりご冥福をお祈り致します。

本誌のコラム「スマートな棚田」を連載中だった法人会員、中崎義己さんが2月16日に急逝されました。中崎さんはバナソニックのエリート社員の座を捨てて、2009年に「棚田むすびの会」を結成し、大津市の仰木や千早赤阪村の下赤坂など関西を中心とした棚田で保全活動を展開しました。特に伝統的な早乙女衣装を復元しての田植えイベントや、耕作放棄田でのマコモの栽培など独創的な活動は頻繁にメディアにも取り上げられました。

編集部から

## ホームページの姿を見て!

棚田ネットのWebサイトも見てみてください!



<https://www.tanada.or.jp>



2021年 春号 Vol.119

発行



認定NPO法人  
棚田ネットワーク

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿 7-18-16 トーシンハイム 704 号  
Tel / Fax 03-5386-4001  
e-mail : info@tanada.or.jp URL : www.tanada.or.jp  
郵便振替口座 : 00100-7-151565